

東日本大震災5年後における 支援活動の蓄積と現状に関する調査

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成団体を対象として

2016年3月

日本学術振興会科学研究費研究

東日本大震災支援における市民セクターの布置と機能についての社会学的研究

研究代表者 東京大学大学院教育学研究科 准教授 仁平典宏

調査協力者 関西学院大学法学部 教授 岡本仁宏

●本調査は、活動継続中の団体のみならず、すでに活動を終えたり、解散された団体にもお願いしております。何卒ご協力のほど、お願い申し上げます。

●本調査は匿名で行い、機密を厳守します。調査結果の公表に際しては、統計的に処理し、個票データは、絶対公表されることはありません。

1. 本調査は、赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」において中長期・重点活動として助成を受けた団体を対象としております。その中からホームページで住所を確認できた団体に郵送させていただきます。
2. 本調査は、中央共同募金会から情報の提供や助成を受けておらず、同会から独立しています。一方で統計的に分析した結果と知見は、ホームページ等で公開すると同時に、**同会や関係機関にも提供し、よりよい助成制度の構築に貢献してまいります**。
3. 回答はできれば、代表者、事務局長、もしくは団体の事情に明るい方をお願い致します。
4. ご回答は、該当する番号を○で囲むもの、数値を記入するもの、ご自由に記述していただくものがあります。「その他」にあてはまる場合など、()内になるべく具体的にその内容をご記入下さい。
5. 調査票にご記入が終わりましたら、**4月11日(月)までに**同封の返信用封筒（切手は不要です）を用いてご返送いただきますよう、お願い申し上げます。
6. ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

連絡先 113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院教育学研究科 仁平典宏研究室
TEL&FAX : 03-5841-3945 携帯電話 : 070-3138-0311 E-mail : nihenori@p.u-tokyo.ac.jp
調査関連ホームページ : <http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~nihenori/index.htm>

【あなたの団体についてお伺いします】

問1 2016年3月時点における、貴団体の東日本大震災支援活動の状況について、当てはまる番号一つに○をつけて下さい。

- | | | | | | |
|--------------|-----|---|-----|-----|-------------------------------|
| 1. 活動を継続中である | | | | | } 2~4 を選択された方も、
回答をお続け下さい。 |
| 2. 活動を休止している | → (| 年 | 月から | 休止) | |
| 3. 活動は終了した | → (| 年 | 月に | 終了) | |
| 4. 団体は解散した | → (| 年 | 月に | 解散) | |

問2 貴団体の性格について、当てはまる番号一つに○をつけて下さい。

- | | | | | | |
|--|--------------|---------------|-------------|----------|--|
| 1. 任意団体 (グループ・友人知人の集まり・サークルなど法人格のない団体) | →問3へ | | | | |
| 2. NPO 法人 | 3. 認定 NPO 法人 | 4. 一般社団法人 | 5. 一般財団法人 | | |
| 6. 公益社団法人 | 7. 公益財団法人 | 8. 社会福祉法人 | 9. 協同組合 | 10. 労働組合 | |
| 11. 学校法人 | 12. 宗教法人 | 13. 株式会社・有限会社 | 14. その他 () | | |

問3 (問2で「1. 任意団体」を選択された方にお聞きします) あなたの組織に最もあてはまるものを、次の中から選び、一つに○をつけて下さい。

- | | | |
|------------------------------|--------------------------------|------------|
| 1. 地縁団体 (町内会・婦人会・青年団・子供会を含む) | 2. 友人のグループ | 3. 学校のグループ |
| 4. 職場のグループ | 5. 地域のサークル (スポーツ団体・趣味のグループを含む) | 6. 宗教のグループ |
| 7. 青年会議所や商工会議所 | 8. その他 () | |

問4 貴団体の主な事務所の所在地の都道府県を記入して下さい。

() 都・道・府・県

問5 貴団体の組織の活動開始年を西暦でお答え下さい。また、法人格を有する場合は、法人設立年もお答え下さい。(不明の場合おおよその年をお答え下さい)

活動開始年 (西暦) _____ 年 法人設立年 (西暦) _____ 年

問6 貴団体が、東日本大震災の支援活動を行ったおおよその日数を、年度・期間ごとにご記入下さい。活動がなかった期間は、0 をご記入下さい。

	2011年3月11日～31日	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
活動日数	約 日	約 日	約 日	約 日	約 日	約 日

問7【震災支援活動を継続中の団体にお伺いします】下記のA・Bにお答え下さい。

A 今後の活動の展望について、当てはまるものについて、一つに○をつけて下さい。

- | | | |
|---------------|-----------------------------|------------|
| 1. 現在の形で継続 | 2. 拡大していく | 3. 縮小しつつ継続 |
| 4. 終了予定(時期:) | 5. 地元の団体等に役割を移しつつ撤退予定(時期:) | |
| 6. その他() | | |

B 今後の資金調達の方向性について、当てはまるもの全てに○をつけて下さい。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 助成金・補助金の獲得に務める | 2. 一般の支援者から寄付金・会費を集める |
| 3. 収益事業を通じ、経済的な自立をめざす | 4. 企業との関係を深め、共同で事業を行う |
| 5. 行政との関係を深め、委託・補助を受けやすくする | 6. 行政によって事業化されることをめざす |
| 7. その他() | |

問8【東日本大震災の活動を休止中または終了した団体にお伺いします】活動を休止・終了した理由は次のうちどれですか。当てはまるもの全てに○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------|----------------------|-----------------------------|
| 1. ニーズがなくなった | 2. 目的を果たした | 3. 被災地の状況が変化して、ニーズが見えにくくなった |
| 4. 活動する資金がなくなった | 5. 参加するメンバーが集まらなくなった | |
| 6. 団体が解散した | 7. その他() | |

問9 貴団体は、東日本大震災とは関連しない活動も行っていますか(いましたか)。次の中から一つに○をつけて下さい。

- | | |
|--|----------------|
| 1. 震災関係の活動だけを行っている(いた) | → 問12へお進み下さい |
| 2. 震災関係 <u>以外</u> の活動を主に行っている(いた) | } → 問10へお進み下さい |
| 3. 震災関係の活動とそれ以外の活動を、 <u>並行して</u> 行っている(いた) | |

問10【問9で2・3(東日本大震災関係以外の活動も行っている)と答えた団体におうかがいします】その活動は、どのようなテーマ・分野のものですか。あてはまる番号全てに○をつけて下さい。

1. ビジネス・営利活動	2. メンバー間の親交を目的とした活動
3. 福祉・保健・医療	4. 教育・子育て・若者支援
5. 地域まちづくり・都市計画	6. 国際協力・途上国支援・グローバルイゼーション
7. 人権・マイノリティ・社会的排除	8. 産業振興(農林漁業も含む)・観光振興
9. 環境保全・自然保護	10. 災害救援・防災・減災
11. 原発・エネルギー	12. 文化・芸術(アート)
13. メディア・出版・情報発信	14. 政治・政策提言・アドボカシー
15. 宗教・スピリチュアル	16. ボランティア・NPO・市民活動の中間支援
17. その他:	

問 11 貴団体の震災以外の活動の経験・知識は、震災の支援活動を行う上で役に立ちましたか。一つに○をつけて下さい。

1. 震災関連以外の活動は行ってないので、該当しない
2. 直接的に役に立った
3. 間接的に役に立った
4. 特に役に立つことはなかった

問 12 貴団体の活動が、赤い羽根共同募金「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ)に採択されたのはいつですか？当てはまる年に全て○をつけて下さい。

1. 2011年 2. 2012年 3. 2013年 4. 2014年 5. 2015年 6. 2016年 7. 分からない

問 13 貴団体が行った東日本大震災関連の支援活動の内容について教えて下さい。

A 活動の内容と時期について、お尋ねします。下記の例の通り、該当するカテゴリーの実施年度の数字に○をつけて下さい（よろしければ、具体的な内容もご記入下さい）。

活動に複数の要素が含まれる場合は、全てに○をつけて下さい。

例 2011年度と2012年度に「仮設住宅に住む住民の共同の畑づくりの支援」を行っていた場合。

C.避難所・仮設住宅の運営支援・整備 (避難所運営手伝い、仮設住宅の草刈り、ベンチや花壇づくり、集会所整備を含む)	仮設での畑作	<input checked="" type="radio"/> 2011	<input checked="" type="radio"/> 2012	<input type="radio"/> 2013	<input type="radio"/> 2014	<input type="radio"/> 2015
--	--------	---------------------------------------	---------------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

カテゴリー	よろしければ、 具体的な内容もご記入下さい	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
A.がれき撤去や安否確認 (捜索、遺失物回収、片付け等を含む)		<input type="radio"/> 2011	<input type="radio"/> 2012	<input type="radio"/> 2013	<input type="radio"/> 2014	<input type="radio"/> 2015
B.物資・食事の提供・配布 (炊き出しを含む)		<input type="radio"/> 2011	<input type="radio"/> 2012	<input type="radio"/> 2013	<input type="radio"/> 2014	<input type="radio"/> 2015
C.避難所・仮設住宅の運営支援・整備 (避難所運営手伝い、仮設住宅の草刈り、ベンチや花壇づくり、集会所整備を含む)		<input type="radio"/> 2011	<input type="radio"/> 2012	<input type="radio"/> 2013	<input type="radio"/> 2014	<input type="radio"/> 2015
D.ケアや見守り (お茶会・サロン・傾聴を含む)		<input type="radio"/> 2011	<input type="radio"/> 2012	<input type="radio"/> 2013	<input type="radio"/> 2014	<input type="radio"/> 2015

カテゴリー	よろしければ、 具体的な内容もご記入下さい	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
E.イベント支援 (各種イベントの主催や手伝い)		2011	2012	2013	2014	2015
F.専門性を活かした支援 (理容美容、医療・健康管理、法律相談、調査・研究を含む)		2011	2012	2013	2014	2015
G.子ども・若者支援 (学習支援、遊び支援、若者向け居場所づくりを含む)		2011	2012	2013	2014	2015
H.災害弱者支援 (障害者・外国人・高齢者・乳幼児・困窮者支援等を含む。 乳幼児以外の子ども支援はG)		2011	2012	2013	2014	2015
I.仕事づくりの支援 (産業復興支援、被災者の雇用支援を含む)		2011	2012	2013	2014	2015
J.コミュニティ再生・復興まちづくり支援 (被災者向け情報発信、集落・文化再生、ワークショップの実施等を含む)		2011	2012	2013	2014	2015
K.広域避難者支援 (ネットワークづくり、相談、情報提供、各種サポートを含む)		2011	2012	2013	2014	2015
L.原発事故被災地域での支援活動 (除染、放射線測定、住民支援を含む。 広域避難者支援はK)		2011	2012	2013	2014	2015
M.原発やエネルギー政策に関する活動 (原発・エネルギーに関する学習会の実施、啓発、運動等を含む)		2011	2012	2013	2014	2015
N.被災地と社会をつなぐ活動 (物産展・企画展、スタディツアーの実施を含む)		2011	2012	2013	2014	2015
O.その他 (具体的に:)		2011	2012	2013	2014	2015

B 貴団体が活動してきた場所・対象について、次の中から選び、全てに○をつけて下さい。

- | | | |
|---------------------|------------|------------------|
| 1. 避難所 | 2. 仮設住宅 | 3. みなし仮設住宅 |
| 4. 被災地の仮設住宅以外の集落の住民 | 5. 災害公営住宅 | 6. 集団移転や住宅再建後の住民 |
| 7. 広域避難先の住民 | 8. その他 () | |

問 14 貴団体が東日本大震災関連で活動した地域について、お尋ねします。

A 貴団体が活動した都道府県は、岩手県・宮城県・福島県のいずれかですか。それとも三県以外の都道府県ですか。下記 1、2 のうち該当する番号に○をつけて下さい。

もしどちらにも該当する場合は、1、2 の両方に○をつけて下さい（2 と同様に B にも進んで下さい）。

1. 岩手県・宮城県・福島県以外 → 下記に都道府県名と市区町村名をお書き下さい。

都・道・府・県

市・区・町・村 →問 15 へ

2. 岩手県・宮城県・福島県のいずれか →次の Bへお進み下さい



B 【A で「2. 岩手県・宮城県・福島県のいずれか」に○をつけた団体にお尋ねします】貴団体が活動した市町村について、次の選択肢から選んで、全てに○をつけて下さい。該当するものがない場合、各県の「その他の市町村」に○をつけて、名称をご記入下さい。

岩手県

1. 陸前高田市 2. 大槌町 3. 釜石市 4. 大船渡市 5. 宮古市 6. 山田町 7. 野田村 8. 盛岡市
9. 遠野市 10. 田野畑村 11. 北上市 12. 岩泉町 13. 一関市
14. 岩手県のその他の市町村 (具体的に:)

宮城県

15. 石巻市 16. 気仙沼市 17. 南三陸町 18. 仙台市 19. 東松島市 20. 亶理町 21. 女川町
22. 山元町 23. 名取市 24. 七ヶ浜町 25. 多賀城市 26. 登米市 27. 塩竈市 28. 岩沼市
29. 宮城県のその他の市町村 (具体的に:)

福島県

30. 南相馬市 31. いわき市 32. 郡山市 33. 福島市 34. 相馬市 35. 田村市 36. 二本松市
37. 新地町 38. 会津若松市 39. 伊達市 40. 双葉町 41. 飯舘村 42. 須賀川市 43. 三春町
44. 福島県のその他の市町村 (具体的に:)

問 15 貴団体が、支援対象や支援地域を決める上で、有益だったものはどれですか。あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

1. 被災地の災害ボランティアセンターや自治体による情報提供
2. 被災地以外の自治体や社協・ボランティアセンターによる情報提供
3. テレビ・ラジオ・新聞報道から得た情報 4. ツイッターなど SNS による情報
5. 現地で実際に見聞きした情報 6. 他の支援者や支援団体からの情報
7. その他 ()

問 16 2011 年度から 2015 年度までの、常勤職員、非常勤職員、運営ボランティア（運営や事務局に携わるボランティア）、一般ボランティア（運営に携わらないボランティア。一時的な活動参加者も含む）の数をご記入下さい。はっきりわからない場合は、おおよその数で結構です。

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
常勤職員	人	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人	人
運営ボランティア	約 人	約 人	約 人	約 人	約 人
一般ボランティア	約 人	約 人	約 人	約 人	約 人

問 17 貴団体の有給の職員の中に、被災者の方はいらっしゃいましたか。いらっしゃる場合は、各年度ごとに人数をお書き下さい。

有給職員の中に被災者の方が

1. いなかった（いない） → 問 18 へお進み下さい。
 2. いた（いる） → 各年度ごとの人数を、下記にご記入下さい。

↓

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
有給職員の中で被災された方	人	人	人	人	人

問 18 震災関連の助成金に対する全体的な評価として、それぞれ当てはまる一つに○をつけて下さい。

	とても そう思う	まあ そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
A. 助成金・補助金がなければ、目的の活動はできなかった	1	2	3	4	5
B. 人件費にも使える助成金を、もっと増やしてほしい	1	2	3	4	5
C. 助成金が取れるかわからないので、事業計画や雇用計画を立てづらい	1	2	3	4	5
D. 単年度単位ではなく、より長い年度で使える助成金を増やしてほしい	1	2	3	4	5
E. 助成金の活動を優先させるため、他のやりたい活動が後回しになった	1	2	3	4	5

問 19 貴団体の事業規模についてお伺いします。

A 貴団体の東日本大震災に係わる支援事業の支出規模は、年度ごとに、およそどのくらいの金額でしたか。一つに○をつけて下さい。

また、その中に占める助成金・補助金のおよその割合、及びその年度にもらっていた件数を、それぞれご記入下さい。該当しない場合は、0 とご記入下さい。

年度	東日本大震災関連事業の支出規模(一つに○)	そのうち、助成金・補助金のおおよその割合(%)	その年度にもらっていた助成金・補助金の件数
2011年度	0. 0円 1. 50万円未満 2. 50万円以上～100万円未満 3. 100万円以上～500万円未満 4. 500万円以上～1000万円未満 5. 1000万円以上～3000万円未満 6. 3000万円以上(具体的に: 円)	約 %	件
2012年度	0. 0円 1. 50万円未満 2. 50万円以上～100万円未満 3. 100万円以上～500万円未満 4. 500万円以上～1000万円未満 5. 1000万円以上～3000万円未満 6. 3000万円以上(具体的に: 円)	約 %	件
2013年度	0. 0円 1. 50万円未満 2. 50万円以上～100万円未満 3. 100万円以上～500万円未満 4. 500万円以上～1000万円未満 5. 1000万円以上～3000万円未満 6. 3000万円以上(具体的に: 円)	約 %	件
2014年度	0. 0円 1. 50万円未満 2. 50万円以上～100万円未満 3. 100万円以上～500万円未満 4. 500万円以上～1000万円未満 5. 1000万円以上～3000万円未満 6. 3000万円以上(具体的に: 円)	約 %	件
2015年度	0. 0円 1. 50万円未満 2. 50万円以上～100万円未満 3. 100万円以上～500万円未満 4. 500万円以上～1000万円未満 5. 1000万円以上～3000万円未満 6. 3000万円以上(具体的に: 円)	約 %	件

B 2015年度の貴団体の予算総額(震災支援以外も含む)を、次の中から一つ選んで○をつけて下さい。

- | | | |
|----------------------|-----------|---------------------|
| 0. 0円 | 1. 50万円未満 | 2. 50万円以上～100万円未満 |
| 3. 100万円以上～500万円未満 | | 4. 500万円以上～1000万円未満 |
| 5. 1000万円以上～3000万円未満 | | 6. 3000万円以上～1億円未満 |
| 7. 1億円以上(具体的に:) | | |

問 20 東日本大震災の支援活動の資金体制についてお尋ねします。

A どのような資金体制で実施しましたか。当てはまる全ての番号に○をつけて下さい。また、助成金・補助金については、よろしければその実施主体と名称もご記入下さい。

1. メンバーの自己負担、会費（会費制度がある場合）
2. 寄付金
3. 事業収入

4. 中間支援団体からの助成金
※日本財団〔Canpan〕、ジャパン・プラットフォーム、Just Giving Japan、日本 NPO センターなど。
※ただし中央共同募金会（ボラサポ）は除く。

中間支援団体（実施主体と助成名称）

5. 企業や企業財団からの寄付や助成金

企業や企業財団（実施主体と助成名称）

6. 行政からの委託

政府・行政（実施主体と助成名称）

7. 行政からの補助金・助成金

海外の政府や財団（実施主体と助成名称）

8. 海外の政府や財団からの寄付や助成金

9. その他（ ）

B 寄付金や会費の収入は、5年間でどのように変わりましたか。一つに○をつけて下さい。

1. 大きく増えた
2. やや増えた
3. 特に変わらない
4. やや減った
5. 大きく減った
6. 寄付金や会費は集めていない
7. その他（ ）

問 21 中央共同募金会「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」（ボラサポ）は、他の助成金と比較して何か長所はありましたか。長所だと思うもの全てに○をつけて下さい。

（他に助成金を取っていない団体の方も、評価できるものに○をつけて下さい）

1. 審査が厳しすぎず、幅広い活動が支援される
2. 申請書が多すぎず、難しくない
3. 審査が公平に行われる
4. 助成決定まで速い
5. 様々な使途に使える
6. 人件費に使える
7. 申請書の巧拙より、内容で評価してくれる
8. 特に長所はない
9. その他（短所でも）

問 22 貴団体の支援活動について、次のことはどの程度あてはまりますか。それぞれ当てはまるもの一つに○をつけて下さい。

	よく 当てはまる	まあ 当てはまる	あまり当て はまらない	全く当ては まらない
A. 支援活動の内容や方法は、対象者と相談して決めていた	1	2	3	4
B. 団体の活動は、被災者が喜んでくれていると感じた	1	2	3	4
C. 団体の活動は、被災地の復興に貢献していると思う	1	2	3	4
D. 活動内容や方法について、対象者から注意を受けたことがある	1	2	3	4
E. 支援先を選ぶ際には、支援の少ない地域や仮設住宅を優先した	1	2	3	4
F. 対象者のニーズに合わせて、活動内容や方法を柔軟に変えた	1	2	3	4
G. 復興計画や防災計画の策定や、対策づくり等にも、積極的に関わった	1	2	3	4

問 23 東日本大震災（原発事故を含む）に関して、行政や政府との間に、次のような関係性はありましたか。それぞれ当てはまるもの全てに○をつけて下さい。

当てはまる 全てに○	補助金・ 助成金を 受けた	情報を提 供しても らった	場所・機 材等を貸 りた	（貴団 体）情報・ 資源を提 供した	復興事業 や、まち づくりで 協働した	要望書や 意見書を 提出した	抗議やデ モンスト レーショ ンをした
A. 活動先 の <u>市町村</u> との関係	1	2	3	4	5	6	7
B. 活動先 の <u>県</u> との 関係	1	2	3	4	5	6	7
C. <u>国</u> （関 連省庁等） との関係	1	2	3	4	5	6	7

【ご回答者様自身についてお答え下さい】

問 24 復興、支援、助成、市民活動のあり方などに関する、あなたの経験やご意見についてお伺いします。A～Fのそれぞれについて、あてはまる番号一つに○をつけて下さい。

	よく 当てはまる	まあ 当てはまる	どちらとも 言えない	あまり当て はまらない	全く当ては まらない
A. あなたの支援活動に対して、周りの人はよく理解してくれた	1	2	3	4	5
B. 被災地外の人への関心の薄さに、ショックを受ける時がある	1	2	3	4	5
C. ボランティアを偽善だと批判する声を耳にしたことがある	1	2	3	4	5
D. 復興計画には、被災地の住民の意見がよく反映されていると思う	1	2	3	4	5
E. 震災以降、政府に任せるだけではいけないと思うようになった	1	2	3	4	5
F. 現在の復興事業の多くは、大規模過ぎて、無駄が多いと思う	1	2	3	4	5
G. 税金に依存せず、寄付が盛んになる社会をめざす方がよいと思う	1	2	3	4	5
H. 行政とは対立するより、信頼し合えるパートナーとなる方がよい	1	2	3	4	5
I. 支援という関係をこえて、被災された方と個人的な付き合いがある	1	2	3	4	5
J. 経営や資金調達（ファンドレイジング）の技術向上に取り組んでいる	1	2	3	4	5

問 25 あなたは、支援活動の経験を今後に活かすために、何かしてきたことはありますか。当てはまるもの全てに○をつけて下さい。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 人材育成を通じたノウハウの継承 | 2. マニュアルづくりを通じたノウハウの継承 |
| 3. 今後の緊急支援活動に備えた資金基盤の強化 | 4. 支援者間のネットワークの形成・発展 |
| 5. 報告会や企画展などを通じた社会への啓発 | 6. ホームページやブログなどを通じた情報発信 |
| 7. 地元における防災・減災の取り組み | |
| 8. その他（ | ） |
| 9. 特になし | |

ご回答者様の性別をご記入下さい。

ご回答者様の年齢について、一つに○をつけて下さい。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 |

ご回答者様の団体内の役職がございましたら、ご記入下さい。

支援活動や助成制度の課題や改善点について、ご意見やお考えがございましたら、ご教示下さい。

**お忙しい中、ご協力本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。
調査票は、4月11日(金)までに、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函下さい。**

結果の概要は、分析が終わり次第、調査関連ホームページ（アドレスは添え状に記載）で公表致しますが、紙の資料をご希望の方は、下記に郵送先をご記入下さい。

ご連絡先（希望される方のみ）：
